

第 1 学 年 公民科（現代社会）学 習 指 導 案

指導者：やまぐち総合教育支援センター
職氏名 研究指導主事 平林 徹

1. 単元名 「市場経済の仕組み」

2. 単元目標

◇ 《情意面》

市場経済に対する関心と課題意識を高め、価格に関する課題を追究する学習に意欲的に取り組むとともに、市場経済の限界について考えようとしている。

◇ 《知識・理解、技能面》

価格には人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解し、その知識を身に付けている。

3. 単元設定の意図

○ 《教材観》

本単元は、経済のしくみの導入部に当たり、比較的取り組みやすい内容である。身近な資料を活用し、経済のおもしろさを実感させ、「経済」を生涯にわたり勉強していく態度を身に付けさせたい。また、「なぜ管理価格が発生するのか」をビールの価格決定を例に、「なぜ公害（外部不経済）が発生するのか」をプラスチック容器利用を例にして考察する。いずれも経済理論に基づいて考察することによって、経済の理論を身に付け、応用の利く概念的知識を身に付けさせたい。

○ 《指導観》

そこで、指導に当たっては、次のような工夫をする。

- ・ 資料を使い、価格の不思議さに気付かせ、課題を主体的に追究させる。
- ・ 経済の特性（理論）を生かし、思考・判断・表現に重点をおいた授業にする。
- ・ 経済の特性（理論）を生かし、概念的知識を身に付けさせる。
- ・ 授業で学習したことを活用することによって、知識の定着をはかる。
- ・ グループ活動を通して知識の定着をはかるとともに、合意を形成する能力を育てる。

4. 評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
単元の 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市場経済のしくみに対する関心が高まっている。 ・ 価格の決め方について意欲的に追究している。 ・ 市場経済の限界について、考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格の決め方について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・ 市場経済にかかわる課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から、多面的・多 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市場経済の限界に関する資料を収集している。 ・ 収集した資料の中から、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 価格には人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解し、その知識を身に付けている。

		角的考察し、その過程や結果を適切に表現している。		
学習活動における具体の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①市場経済のしくみに対する関心が高まっている。 ②価格の決まり方について意欲的に追究している。 ③非価格競争について意欲的に追究している。 ④外部不経済の発生のしくみについて意欲的に追究している。 ⑤市場経済の限界について、考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①伸縮的な価格（農作物）の決まり方について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ②固定的な価格（電気製品）の決まり方について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③固定的な価格（寡占市場）の決まり方について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ④非価格競争について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ⑤外部不経済の発生のしくみについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ⑥市場経済にかかわる課題を見だし、対立と合 	<ul style="list-style-type: none"> ①市場経済の限界に関する資料を収集している。 ②収集した資料の中から、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①伸縮的な価格（農作物）の決まり方について理解し、その知識を身に付けている。 ②固定的な価格（電気製品）の決まり方について理解し、その知識を身に付けている。 ③固定的な価格（寡占市場）の決まり方について理解し、その知識を身に付けている。 ④非価格競争について理解し、その知識を身に付けている。 ⑤外部不経済の発生のしくみについて理解し、その知識を身に付けている。 ⑥公害がなぜ起こるのかを理解し、その知識を身に付けている。

		意、効率と公正などの視点から、多面的・多角的考察し、その過程や結果を適切に表現している。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発表 ・ワークシートの記述 ・ペーパーテスト 		

5. 学習計画(指導と評価計画)

	学習内容・学習活動	評価基準				評価方法
		関	思	技	知	
1 本 時	価格の働き ・伸縮的な価格と固定的な価格について、多面的・多角的に、考察する。 ・価格の決めり方の概念を理解する。	②	① ②			ワークシート ペーパーテスト
2	寡占市場 ・寡占市場での価格の決めり方を、ビールを事例に考察する。 ・価格が固定した場合、どのような競争になるか、考察する。 ・価格の決めり方(寡占市場)と非価格競争の概念を理解する。	② ③	③ ④		③ ④	ワークシート 生徒の発表 ペーパーテスト
3	市場の失敗 ・外部不経済の発生の仕組みを、ヤクルトを事例に考察する。 ・市場に限界があることについて理解する。 ・公害がなぜ起こるのかを理解する。 ・単元のまとめ(ペーパーテスト)	④ ⑤ ①	⑤ ⑥	① ②	⑤ ⑥ ① ⑥	ワークシート ワークシート ペーパーテスト ペーパーテスト

6. 本時案

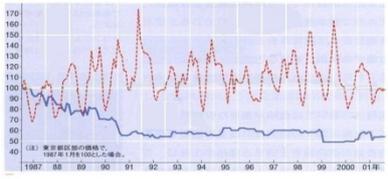
(1) 主眼・ねらい

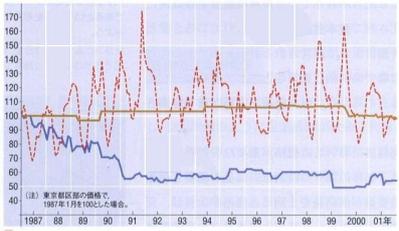
伸縮的な価格と固定的な価格について、多面的・多角的に考察させ、市場価格の決まり方についての概念的知識を獲得させる。その際、グループ活動を取り入れることで、知識の定着をはかる。

(2) 準備物

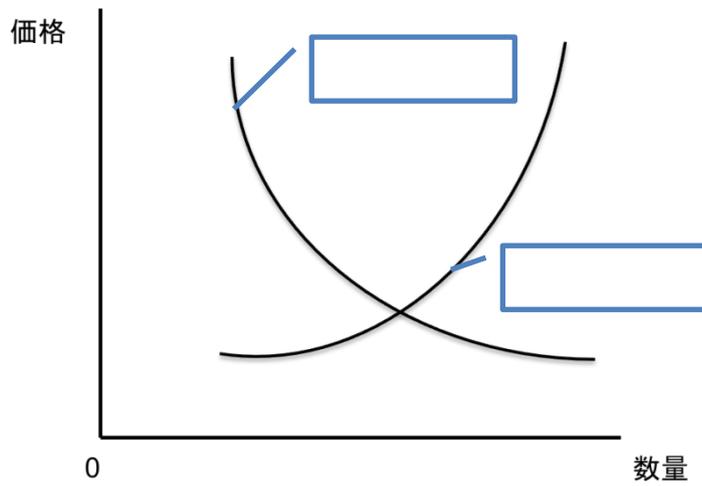
ワークシート、P C、プロジェクタ

(3) 学習過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援						
<p>1 導入</p> <p>Q 1 この二つの価格は、何の価格でしょう。</p> <p>(1) 問いについて考える。</p>  <p>(2) Q 1 と考えた理由を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物（まとめて）、携帯（具体）等様々な意見が出る。 ・考えて、正解を導き出す。（農作物） ・価格の変動が激しいから。 ・逆に、変動が激しくないから。 	<p>☆P C・プロジェクタを使い、「電卓」と「トマト」の価格の推移のグラフを見せる。（教科書の図を加工したもの）</p> <p>○一つは、電気製品、一つは農作物とヒントを与える（どちらがどっち）</p>						
<p>2 展開1（農作物の価格）</p> <p>Q 2 この農作物は何でしょう。 1 キュウリ 2 大根 3 トマト 4 白菜</p> <p>(1) 問いについて考える。 (2) Q 2 と考えた理由を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3 など ・冬とれないので、値段が高い。夏は安い。 	<p>○価格の高い時期・低い時期に着目させる。</p>						
<p>獲得させたい概念的知識</p> <p>・供給<需要→価格上昇、供給>需要→価格低下。</p>								
<p>Q 3 この価格は、何の農作物でしょう。（東京築地卸売市場）</p> <table border="1" data-bbox="209 1592 1018 1682"> <tr> <td>5月</td> <td>368,955kg</td> <td>690円</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>389,151kg</td> <td>1,643円</td> </tr> </table> <p>(3) 問いについて考える。</p> <p>3 展開1のまとめ（グラフ化）</p> <p>(1) グラフについて、どちらか需要・供給曲線か考</p>	5月	368,955kg	690円	12月	389,151kg	1,643円	<ul style="list-style-type: none"> ・イチゴ 	<p>○供給量が多いのに、価格が高いことに、着目させ、多角的に考察させる。（イチゴ12月が高い）</p> <p>○需要があれば、値段が高くなってもつくろうとすることを理解させる。</p> <p>○ 需要・供給曲線が説明できるようにする。</p>
5月	368,955kg	690円						
12月	389,151kg	1,643円						

<p>え、その理由を説明する。 (ワークシートに記入)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで思考・判断・表現を評価
<p>4 展開2 (電気製品の価格)</p>		
<p>Q4 なぜ、電化製品は、価格の変動が激しくないのか？</p>		
<p>(1) グループで考える。(ワークシートに記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物は、需給の差が大きくなりやすい。(とれる時期・食べたい時期) 	<ul style="list-style-type: none"> ○価格の決まり方を多面的に考えさせる。 ○今までに獲得した知識を活用し、考えさせる。(農作物と何が違うのか)
<p>(2) グループで考えたことを発表し、議論する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工業製品は、生産調整ができる。 ・在庫の保管ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで思考・判断・表現を評価
<p style="text-align: center;">獲得させたい概念的知識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要と供給の開きが大きいと、価格が調整される。 ・供給量を調整できるものは、価格より供給量を調整する。 		
<p>Q5 なぜ、電化製品は、価格が下がるのか？</p>		
<p>(1) グループで考える。(ワークシートに記入)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市場拡大による量産効果 ・技術革新により、同等の機能が低コストになる。(ムーアの法則) 	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな問いを発見させる。 ○価格の決まり方を多角的に考えさせる。 ○分からない場合は、調べさせる (あるいは教師が説明する)。
<p>(2) グループで考えたことを発表し、議論する。</p>	<p>[→電気製品は、付加価値をつけて絶えず新製品を投入する必要がある]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで思考・判断・表現を評価
<p>5 展開3 (寡占市場の価格)</p>		
<p>Q6 この新たな価格は、何の価格でしょう？</p>		
 <p>① 東京都区部の価格で、1987年7月を100とした場合。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ オープンエンドにする。(探究：なぜ、価格が変わっていないのだろう) ○ 次時へつなげる。

ワークシート



問1 どちらが需要・供給曲線？

問2 そう判断した理由を説明しよう。

問3 なぜ、電気製品は、価格の変動が激しくないのか？

(自分の考え)

(みんなの考え)

問4 なぜ、電気製品は価格が下がるのか？

(自分の考え)

(みんなの考え)